

未来を担う人づくり実践研修を展開中

－「プチ酪農教室」で研修成果を検証－

一般財団法人「地域公共人材開発機構(京都市)」の馬場さんは、酪農体験を通じて「食」や「命」の大切さを子供たちに学んでもらう酪農教育ファームでの指導者を目指し、本年7月から畜産センターで実践的な研修を受けています。

9月24日、福知山市で開催された「中丹由良川里山フェスタ」に当センターが出展した「プチ酪農教室」では、牛や牛乳などの話や牛乳パックを使った工作を教える活動に取り組み、食育活動に自信を深めた様子でした。



牛の話をしながらかのペーパークラフトを作り子供たちに大好評

当センターではサイロ壁面に
ウエルカムボードを制作

畜産センター

(平成 23 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：排水域環境に負荷を与えない循環利用機能を備えた新たな洗卵消毒装置
の開発

研 究

環境にやさしい「新しい鶏卵洗浄システム」の開発

－試作装置を改修し間もなく完成－

畜産センターでは、石灰系化合物を殺菌剤として用い、排水を浄化する機能を備えた「新しい鶏卵洗浄システム」を京都市内の全自動鶏卵選別包装システムのトップメーカーと共同で開発しています。昨年末から試作装置による実証試験を行い、洗卵消毒効果や排水の浄化効果などの結果から、その実用性が確認できました。今回は、作業性や排水処理をより効率化するために、殺菌剤の供給システムや排水処理ラインを改修し、実用装置として本年度中の完成を目指します。



改修中の試作装置（鶏卵洗浄消毒装置）

畜産センター

(平成 23 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：高品質牛肉生産への肥育期別飼料給与技術の確立

研 究

種雄候補牛「玉碇 2 1 8」の肥育は順調

畜産センターでは、平成 22 年 8 月に開始した「玉碇 2 1 8」を父に持つ息牛の肥育試験に取り組んでいます。試験牛 4 頭は、今月 (23 か月齢) の体重測定で平均 729kg (通算 DG1.03kg) となり、順調に発育しています。出荷予定の来年 3 月には、肉の量だけでなく、脂肪交雑 (霜降り) などの良い肉質成績が期待されます。



現在の試験牛 (全国トップクラスの「百合茂」を父に持つ「玉碇 218」の息牛)



肥育試験開始時 (平成 22 年 8 月)

畜産センター

府内 6 例目となる畜産センター方式の脱臭装置が竣工

畜産センターでは、6月から舞鶴市の採卵養鶏場で、当センターが開発した技術を用いた脱臭装置の設計や施工を指導しています。この度、脱臭装置が完成し、臭気物質を分解する微生物の種菌を投入して9月から運転を開始しました。今回は、アンモニア濃度の高い臭気に対応出来るように、吸入した臭気を希釈する機能を脱臭装置に付加するなど新たな工夫をしています。



完成した 2 基の脱臭装置（縦×横×高さ：14m×3.2m×1.6m）に種菌を投入

牛群検定を酪農経営に活かしてもらうために

牛群検定成績には、乳量、乳成分など多くのデータがあり、情報量が多すぎて十分に活用されていません。

7月に当センター職員が講師として検定成績の読み方などの研修をしたところ、組合員から「検定成績を経営にもっと活用しよう！」という声上がり、指導の依頼がたくさん寄せられました。今月から担当者が巡回を行い、成績表から読み取れる飼養管理の改善点などを指導しました。

The image displays a '牛群検定成績表 (牛群成績)' (Cattle Herd Testing Results Table) with handwritten annotations in yellow. The table includes columns for '年間累計' (Annual Total) and '前年対比' (Year-over-Year Comparison) for metrics like '乳量' (Milk Yield), '濃厚飼料' (Concentrated Feed), and '飼料効果' (Feed Efficiency). Handwritten notes include: '乳食司比 濃厚飼料費 x100 / 乳1t' (Milk:concentrated feed cost ratio), '食料効果 濃厚飼料kgで生産した乳量' (Feed effect: milk produced per kg of concentrated feed), and '同乳量期の平均' (Average for same milk yield period) with values for '濃厚飼料費' (2,058), '乳食司比' (18), '食料効果' (2.6), 'P/F比' (2.099), and '濃厚飼料' (2.4).

Below the table is a photograph of a staff member in a red jacket sitting on a chair, talking to two farmers in a barn. The staff member is pointing at a table with the testing results, explaining the data. The background shows cow stalls and a view of the outdoors.

牛舎や牛を見て実際の管理状況を聞き取り
改善点を指導します

役目を終え畜産農家に帰るサポートカウ

9月28日、綾部市で6月から4か月間、耕作放棄地対策や獣害対策、地域の活性化のために活躍した2頭のサポートカウは、鹿やイノシシの被害もなく稲刈りが終わった田んぼの畦道を通って畜産農家に引き取られて行きました。

畜産センターでは、来年も地域と畜産農家の要望に放牧技術指導などで応え、関係機関と一緒に継続的に支援して行きます。



台風で屋根のブルーシートが吹き飛ばしましたが、牛は大丈夫でした。



地域の人に見送られるサポートカウ

高校生が畜産を体験

9 月 28 日、峰山高等学校弥栄分校農園芸科の 1 年生 20 名が、畜産体験に当場を訪れました。生徒たちは、当場の職員から京都の畜産や牛の受精卵移植技術などの講義を受けた後、牛の手入れや子牛の診療補助などの体験実習を行いました。

全員が、牛に触れるのは初めてでしたが、今回の体験が畜産に興味を持つきっかけとなり、畜産業の次代を担う技術者が育つことを期待しています。



牛の受精卵移植技術の講義を受講



子牛の診療を補助



乳牛をやさしくブラッシング

畜産センター
碓高原牧場

小学生がレンタカウで牛の勉強

9月5日、京丹後市久美浜町の耕作放棄地で、8月から放牧している当場のレンタカウを教材とした「牛の観察会」が、牛を管理している佐野甲区中山間委員会の主催で行われました。

当日は生憎の雨天でしたが、集まった地元の佐野小学校の一年生は、初めて近くで見る大きな牛に大はしゃぎしていました。また、当场職員の牛や放牧のお話にも興味深く耳を傾け、初秋の良い思い出となったようです。



間近に牛を見て大はしゃぎ

直に触れて「温かーい」と笑顔に